

ガス水道局所管の本支管工事

公取委の談合疑惑解明の動き、依然として見えず

市議会は100条調査権発動すべきだ

入札制度改革は前進

本年3月以降8月までのガス水道局の入札データによれば、平均落札率は91.26%であり、昨年1年間の指名競争入札よりも3.24ポイント低くなっています。宮越ガス水道局長は「業者間の競争が高まった」と評価しています。

気になったのはこの間、最低制限価格とまったく同額で落札したケースが14件もあり、入札を重ねるごとに増えているという事実です。この点について8日、私が委員外発言で質問したところ、宮越局長からは「県の最低制限価格設定の仕組みなどを知っていれば、最低制限価格ギリギリや同額のものがありうることだ」という答えが返ってきました。いままでの高落札率についても市当局は「競争の結果」と言ってきましたが、ガス水道局の最近の入札結果は、いままでの入札の問題点を浮き彫りにしていますね。



7月2日、稲田小の放課後児童クラブを視察する日本共産党議員団。

上越市ガス水道局所管本支管工事入札談合疑惑を解明するために市議会に100条調査委員会を設置していただきたいという請願が3月議会に続いて不採択となる公算が大きくなりました。8日の市議会建設企業常任委員会の審査で不採択とすることが決まったからです。このままいくと、本会議では日本共産党議員団など

ごく一部だけの賛成で不採択となりそうです。今回、請願書を提出したのは「くびき野地域問題研究会」（後藤紀一代表）です。後藤代表は委員会審査で趣旨説明し、「3月議会からすでに半年が経過しているが、公取委の動きはまったく見えない。このまま放置すれば、談合疑惑そのものが風化する恐れがある」と100条調査委員会設置を強く求めました。

しかし、委員会審査では、「現在の段階では公取委の審査を優先すべき。1年経っても動きがないなら設置すべきだ」という「談合はいけないことだ。でも、いまの時点では公取委の推移を見ていきたい」などの公取委任せの意見ばかりで、議会で積極的に説明に向けて動くという姿勢を示す委員はひとりもいませんでした。こんなことではいいのでしょうか。ちなみに、この委員会には日本共産党議員団所属の委員はいません。

子どもたちが安全に過ごせるようにしてください……9日の文教経済常任委員会でも平良木議員が党議員団の管内視察をもとに放課後児童クラブの問題をとりあげました。平良木議員は、指導員の資格、一人当たりの面積基準と過密状態の解消などについて質問しました。答弁の中で市教委は、「原則複数配置のところは一人のところは有資格あるいは経験ある人

を配置している。途中でそれが崩れる場合は指導主事を派遣するなどの対応をしている」「国の基準、あるいは上越市が定める基準に基づいて有資格者を求めている」「面積基準は今度は市がルールを守ることになる。例を出すことになる。」「とのべていました。なお、委員会でも市教委は47か所ある放課後児童クラブのうち11か所が県の指針である「一人当たり面積1.65㎡を下回っていることを明らかにしました。」



市教委、面積基準守る努力を明言



【シロバナサクラタデ】タデ科の多年草。漢字で「白花桜蓼」と書きます。数年前のこと、高田の花ロードで、元金物屋さんのUさん宅の屋上で咲いていたのにはびっくりでした。花言葉は「優雅な清楚さ」「愛くるしい」。ぴたりだと思えます。

はしづめ法一の活動レポート

No.1674 2014.9.14
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見
 てある記」は
 ← こちら

橋爪法一 検索

ガス水道局所管の本支管工事

公取委の談合疑惑解明の動き、依然として見えず

市議会は100条調査委員会の設置を

入札制度改革は前進

本年3月以降8月までのガス水道局の入札データによれば、平均落札率は91.26%であり、昨年1年間の指名競争入札よりも3.24ポイント低くなっています。宮越ガス水道局長は「業者間の競争が高まった」と評価しています。

気になったのはこの間、最低制限価格とまったく同額で落札したケースが14件もあり、入札を重ねるごとに増えているという事実です。この点について8日、私が委員外発言で質問したところ、宮越局長からは「県の最低制限価格設定の仕組みなどを知っていれば、最低制限価格ギリギリや同額のものがありうることだ」という答えが返ってきました。いままでの高落札率についても市当局は「競争の結果」と言ってきましたが、ガス水道局の最近の入札結果は、いままでの入札の問題点を浮き彫りにしていますね。



「あらためて市民に問う考えはない」「ワークショップでは個々の施設希望の費用を算出したわけではなく、自由に思いを出しても良かった」と答えました。これでは市民は納得しないでしょう。

上越市ガス水道局所管本支管工事入札談合疑惑を解明するために市議会に100条調査委員会を設置していただきたいという請願が3月議会に続いて不採択となる公算が大きくなりました。8日の市議会建設企業常任委員会の審査で不採択とすることが決まったからです。このままいくと、本会議では日本共産党議員団など

強く求めました。しかし、委員会審査では、「現在の段階では公取委の審査を優先すべき。1年経っても動きがないなら設置すべきだ」という「談合はいけないことだ。でも、

この日は所管事務調査で「ガス水道本支管工事の入札状況について」の審議もありました。このなかで宮越ガス水道局長は、公取委から市に対して問い合わせも追加資料の提出も求めたくないとを明らかにしました。

（仮称）厚生産業会館の基本設計案は、これまでの基本構想とは大きく異なり、建設費が10億円以上も増大しています。ホール、公民館、こども施設のエリア構成は変えていないといいますが、平屋を基本に大きな中庭を造るなど、大きな変更になっています。

8日の建設企業常任委員会で日本共産党議員団の平良木議員は委員ではありませんが、発言を求め、「これだけの大幅変更であれば、あらためて市民に問うべきではないか」「ワークショップで市民の思いを受け止めることに大きな意義があるが、行政としては費用の上限を示して、希望との調整をすべきではなかったか」と質問しました。



今回、請願書を提出したのは「くびき野地域問題研究会」（後藤紀一代表）です。後藤代表は委員会審査で趣旨説明し、「3月議会からすでに半年が経過しているが、公取委の動きはまったく見えない。このまま放置すれば、談合疑惑そのものが風化する恐れがある」と100条調査委員会設置を

いまの時点では公取委の推移を見ていきたい「などの公取委任せの意見ばかりで、議会で積極的に説明に向けて動くという姿勢を示す委員はひとりもいませんでした。こんなことではないのでしようか。ちなみに、この委員会には日本共産党議員団所属の委員はいません。



【シロバナサクラタデ】タデ科の多年草。漢字で「白花桜蓼」と書きます。数年前のこと、高田の花ロードで、元金物屋さんのUさんの屋上で咲いていたのにはびっくりでした。花言葉は「優雅な清楚さ」「愛くるしい」。ぴたりだと思えます。

建設費大幅増の（仮称）厚生産業会館 あらためて市民に問うべきだ

（仮称）厚生産業会館の基本設計案は、これまでの基本構想とは大きく異なり、建設費が10億円以上も増大しています。ホール、公民館、こども施設のエリア構成は変えていないといいますが、平屋を基本に大きな中庭を造るなど、大きな変更になっています。

8日の建設企業常任委員会で日本共産党議員団の平良木議員は委員ではありませんが、発言を求め、「これだけの大幅変更であれば、あらためて市民に問うべきではないか」「ワークショップで市民の思いを受け止めることに大きな意義があるが、行政としては費用の上限を示して、希望との調整をすべきではなかったか」と質問しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1674 2014.9.14

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628 吉川有線 4867

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い 第三十二回 は「う」酒

三年ぶりでしょうか、飲み屋さんなどを三軒以上もはしごしたのは。九月三日、高田の仲町で、美味しい焼きたて焼きたての店、昔ながらのスナック、家庭料理を堪能できるお店など四軒のお店を回りました。いずれのお店も初めて入るところばかりでした。じつは、この日、高田の夜の街を楽しみ、地域を元気にしようというイベント、「高田夜の街オリエンテーリング2014」（略称、「夜オリ」）があったのです。私はSさん夫婦とグループを作って参加しました。今回の参加者はなんと四五〇人、午後七時過ぎに開会式が行われたイレブンプラザ広場をスタートした時、雁木のある歩道は通勤時の東京駅構内のようなでした。人混みの高田は新鮮ですね。

このイベントでは予め事務局が用意してくれた四つのお店を順番に回って九時までにスタート地点まで戻ってくるようになっていきます。当日の夕方までどこのお店に行くことになるかもわからないので、どんなお店に行くのか、それだけでも興味津津でした。

私と友人のSさん夫婦が最初に訪れたお店は「手前屋」という名前のお店でした。壁には雪に埋まった数十年前の高田の街の風景や当時のバスなどの写真が貼られていました。写真を見ただけでホッとしました。そして吹き抜けが見事でした。しっかりと組まれた木材がむき出しになっていて、屋根裏まで見ることができたのです。

二軒目は「カラー」という名のスナック。このママさん(?)はサービスピス精神旺盛の人でした。ここでは生ビールを二杯も飲みました。飲んでおしゃべりを楽しむにはいい雰囲気でしたね。四五〇人も参加していれば、知っている人と飲み屋さんで会う確率は低いと思っていたのですが、タイヤ販売のIさん、音楽教室をやっているNさんなどとぼったり出会いました。それだけじゃありません、日頃から付き合いのある消防団幹部のSさん、越後よしかわやつたれ祭りの神輿パレードでは欠かせぬ存在のOさん、バスの運転手のSさんたちも入ってくるじゃありませんか。お互いに「おー、おー」と言いながら握手をして喜びました。このお店は「いろんな出会い」が「カラー」かな。

三軒目は駅前郵便局の道を挟んで反対側にある「ラウンジ田村」、ここは料理がうまかった。一番気に入ったのはクジラ汁です。一緒に回っていたSさんのお連れ合いが、「私のところにクジラの肉が三枚も入っている」と嬉しそうに言うので、Sさんも私もお椀の中をさぐりました。「おれんところにも三枚ある」「おれも三枚だ」。お椀の中に薄切りの肉片を見つけた三人は周りに他のお客さんがいることをすっかり忘れ、子どものようにはしゃいでしまいました。

そして最後のお店は「プラダBeego (ビーゴ)」。カウンター席が八つしかない小さなお店です。椅子に腰をかけると、すぐに若い女性の店員さんが声をかけてくれました。「あつ、橋爪さんですよ。ポスターと同じ顔ですね」私のことをずっと前から知っているような親しみを込めて、ニコニコしながら話しかけてくる姿はとても好感が持てました。このお店のカウンター内側にはもう一人、素敵な女性もいましたよ。お客と若い店員さんたちとの距離が近くて、楽しかったです。そう言えば、店長の岩沢さんは夜オリアの実行委員長さんでした。アナウンサーのような美声と楽しいおしゃべりが持ち味の男性ですが、お店全体にこの人の持つ独特の雰囲気を感じました。

四軒もはしごして、ほどよく酔いました。かかった料金は三千円。たまには行きつけのお店以外の暖簾をくぐるのもいいもんですね。十分楽しめました。そうそう、四日後に分かったのですが、最後に訪れたお店の若い女性は大島区出身の美和さんでした。

園児を中心に「たにはま保育園」の竣工・開園式

9月6日、桑取・谷浜地区の4つの保育園がひとつになった「たにはま保育園」の竣工と開園を祝いました。来賓を含めて100人近くの人たちが集まりました。

こういう施設はいうまでもなく子どもたちが主人公、園児たちが喜ぶ式にしなければなりません。テープカットに園児の代表が参加するなど工夫してありました。舞台上で喜ぶ園児たちの姿が印象的でした。

感心したのは佐藤敏議長の挨拶でした。子どもたちにやさしいまなざしを向け、「33人のみなさん、おめでとうございませぬ。みなさんは何年経っても第1回の入園生です。おともだちをたくさんつくってくださいね」と呼びかけると、園児たちは元



気に「はい」と返事をしていました。ステージ上では園児たちが「素敵な思い出作ります」とのべ、歌を歌いました。終わってから、全員で記念撮影もしました。

開園した「たにはま保育園」は木造平屋建で、延床面積が651㎡。総事業費は3億4960万円でした。定員は50名ですが、この日の段階では33名です。どこにも負けない子どもが主人公のまちづくりをして園児の数を少しでも増やしたいものですね。写真はいずれも橋爪が撮影しました。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月3日(水)	9月10日(水)
上越南消防署	0.033	0.036
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.040	0.047
頸南消防署	0.056	0.047
頸北消防署	0.043	0.043
東頸消防署	0.050	0.060
高士分遣所	0.050	0.043
名立分遣所	0.050	0.050